THE EFFECTS COMPANY

Cirrus Lowsmoke

シーラス・ロースモーク取扱い説明書

株式会社ギミック

操作説明

シーラスロースモークは、高い水準を得るよう設計製作されており、もし後述するとおり正確に操作されれば、トラブルなく長期間使用できます。

動作原理

シーラスは、「スーパースモーク」マシンに接続し、液化炭酸ガス（CO2）を使用することにより、スモークを冷やし、床面レベルを這うドライアイス効果に似た煙を作ります。
シーラスとスーパースモークマシンは、電気的にリンクさせることができ、通常のコントローラーで操作します。使用するスモーク液は専用液を使用しなくてはなりません。

電気的な接続

IEC **プラグ線が添付されており、電源に以下のように接続しなければなりません。**
茶＝ライブ、青＝ニュートラル、緑／黄＝アース
＊安全上、確実にアースすることが重要です。
A3 **アンペアヒューズをプラグ部分に使用して下さい。**

シーラスのセットアップ

1） シーラスをスモークマシンに 3 本のマウントネジで結合させる。
2） CO2 ボンベに接続する。（ホースネジを確実に締めること）
3） スモークマシンからシーラス、シーラスからリモートコントローラーにリモートケーブルを接続する。
4） スーパースモークとシーラスを電源につなぐ。
5） 受け皿がガスケットシール（ゴムパッキン）に対し、しっかりと入っているか、ハンドル部がしっかりロックされているかを確認する。
6） CO2 ボンベのバルブを開ける。
7） スモークマシンが予熱終了（7－8 分）次第、操作可能になります。

総合的な事項

CO2

シーラスは、50 気圧の液化炭酸ガス（サイホン付き）により作動します。他の炭酸ガス（低圧ガス等）は使用しないでください。６．３５ｋｇボンベで約 9.5 分、３４ｋｇボンベで約 48 分持続します。

CO2 ボンベの取付と取り外し

接続前―ホースナット内のパッキンが入っているか確認して、締め込んで下さい。（締め過ぎないように注意して下さい。）CO2 ボンベを開けた時、ホースのナットが十分に締まっているのに、結露や凍結する箇所があれば漏れのある証拠です。新しいパッキンに交換する必要があります。ホースを取り外す場合、まず中の圧力を全部抜いて下さい。もし、その作業を怠ると、ホースからの急激な放出が起こり、重大な「ホースホイップ（ホースの暴れ）」事故が起きます。

１）　CO2 ボンベのバルブを閉める。

２）　シーラスの電源は入ったままか確認する。

３）　本体上部の、「ＭＡＮＵＡＬ　ＯＶＥＲ　ＲＩＤＥ」スイッチを押す。これによりホース内の CO2 ガスを抜く。

４）　数秒後、圧力計が「０」表示になり、ホース内のガスが抜けたことが分かる。

５）　これでボンベを取り外す。

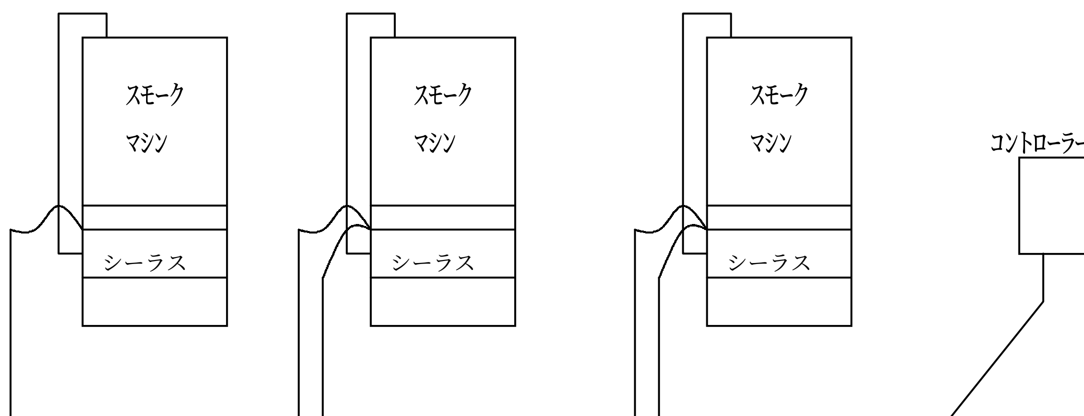
＊常に、使用後はボンベのバルブを閉めて下さい。

低電圧コントロール／接続

シーラスのパネルに見られるように、スモークマシンのリモート出力をシーラスに接続し、シーラスから好みのコントローラーに接続する事により、スモークマシンのコントロール回路に連結して動きます。０－１０V コントロールが使われている調光卓にも使用できます。スーパースモーク３０００ターボのような、５ｐｉｎ　１８０°ＤＩＮコネクタが使われている場合、普通に接続します。スーパースモーク１０００のように、ステレオジャック／３芯ケーブルの場合、下記の様に変換ケーブルを作る必要があります。

ジャックプラグ	ＤＩＮﾋﾟﾝ番号
スリーブ	2
リング	5
チップ	3

シーラスは、下図の様に１つのコントローラーで複数の機械を操作できます。



すべてのマシンの配線は通常どおりですが、ＤＩＮのソケット「ＦＲＯＭ ＲＥＭＯＴＥ ＣＯ

ＮＲＴＲＯＬ ＯＲ ＬＯＷＳＭＯＫＥ」部は、分配線や箱を経由させ、分配しなくてはなりません。
ＣＯ２と電源は、それぞれの機械に必要です。

コントローラーの選択
スーパースモークを操作できるコントローラーなら、「スーパースモーク＋シーラス」のセットで使用できます。たとえば、タイマー操作が必要なら、ＥＣ２００やＥＣ４００Ｔで可能です。ＤＭＸコントロールシーラスは、弊社製のＤＭＸコンバーターでも使用できます。

「ＣＯ2 ＰＲＥＳＳＵＲＥ」インジケーター
シーラスの動作に必要なボンベの圧力（最低で３０気圧／４４１ｐｓｉ）がかかっているかを表示しています。もし、ＬＥＤが消えた場合、シーラスは直ちに動作停止します。インジケーターはＣＯ２が気体か液体かを見分けるものではありません。

フィルター
インラインフィルターで、異物や切りクズなどが高圧インジェクターに入り、弁詰まりを起こすことがないように取り付けられています。時々、チェックする必要があります。フィルター部のキャップを再び締める際Ｏリングに注油してください。シーラスにガス圧力がかかっているときには絶対にフィルター部をさわらないでください。

手動／リモート補助手動装置の使用
重要―よく読んでください
ボンベのバルブを開け、補助手動スイッチ（「ＭＡＮＵＡＬ ＯＶＥＲＲＩＤＥ」）をしばらく操作すると、ボンベとシーラス間のホースの中が高圧の液化炭酸ガスに満たされます。その結果、シーラスの動作中には、その部分に、即冷効果が起こります。ガスが流れずある時間が経つとホース中の液体ガスは温められて気化していきますので、操作前に簡単にホース内を再び満たしてやることがベストです。これで、コントローラで操作した場合、ＣＯ２の流れとスモークの流れとを同時に起こさせることができます。事前にガスを通しておかなければならない場合としては、
１ シーラスをセットしたとき
２ シーラスの操作間隔が空くとき
３　ＣＯ２のボンベが空に近くなったとき
などです。
多くの場合、必要ありません。リモートの場合コントローラー（ＬＳ５０）があり、本体の「ＭＡＮＵＡＬ ＯＶＥＲＲＩＤＥ」スイッチの代わりに使用できます。「ＰＯＷＥＲ ＯＮ」，「ＣＯ

２ＦＬＯW」を表示するＬＥＤも付いています。

スモークマシンとの結合

スモークマシンを立て、シーラスの後方に合わせ３本のネジを締めます。古い機械では、Ｍ５のタップやバイスを使ってネジ山をきれいにしておけば、作業しやすくなります。
結合前にスモークマシンの出力部がまっすぐにシーラスに入っていくか、確認してください。（例；出力チューブが曲がっていないか等）

ロックアウト

シーラスは、ある条件で動作停止します。
１　ＣＯ２の圧力が不十分なとき
２　スモークマシンが低温になり動作停止したとき
３　スモークマシンの液がなくなり、ボトルカットアウトが作動したとき

ＣＯ２ボンベの空表示

これは、スモークが突然立ち昇ったり、シーラスの出力側の温度を手で感じてみて、確認します。
もしスモークが暖かい場合は、新しいボンベが必要です。

ハイパワーマシンとの組み合わせ

シーラスは、標準として「スーパースモーク」と使用するよう設計されています。もし、高出力のスモークマシンと使用する場合、ボリュームコントロールを下げシーラス内部を通過する量を減らしてください。専用液を使っても、湿った液状のスモークがでないことを確認してください。

専用液

エフェクトカンパニーの専用液のみシーラスに使えます。この液は、低い位置に漂い、立ち昇る前に消えるよう他の液と異なり高い水準をえるよう調合、製造されています。

ターボ操作

シーラスは、スーパースモークターボマシンとも使用できます。したがって、ロースモークに巻き雲効果を付加するような空気の流れを追加できます。

ダクティングアダプタ

このオプションは、シーラスの前面にネジ付け：５１mmのダクトを接続できるようにします。短くすれば、中間距離用として使用できます。又、単体でロースモークの特別な噴出口として

も使えます。ダクトは、雑音の問題が発生した場合にも使用できます。詳しい説明は、アダプタの取扱説明書に記載してあります。

コンデンセートトレイ

これは、液溜りで通常チェックしなければなりません。シーラスの移動時などには、空にしておく必要があります。常にマシン下のガスケットシール部に密着するようにしてください。これを怠るとその部分から漏れを生じます。オプションでパーマネントドレイントレイがあります。これは、恒久的な液抜きを行います。（手の届きにくい場所に設置した場合など）

常設

シーラスを常設するような場合、ボンベの集合装置を設置することをお勧めします。ボンベをまとめてつなぐことで、ボンベ交換の頻度を減らすことができます。シーラスとボンベ間のホースはできるだけ短くしてください。（タイムラグをなくすため）集合装置は、４本接続できるものが用意されています。

良好な動作のためのヒント

- シーラスの面倒を見る－なるべくフライトケースに入れて保管、輸送する
- 液が零れていたら、すぐに拭き取る、上部の基板部に入っていないかを確認する。
- コンデンセートトレイが、割れたり変形していないかを確認する。－ガスケットシールを無効にし漏れを起こします。
- 隙間風などのない安定した空気中で、最良の効果が得られる。
- すべての内部パーツ（ケース、ネジ）は、ステンレス製でメンテナンスの必要はない。
- ロースモーク効果は、ボリュームを下げさらに冷やしてやることにより、得られる場合もある（スモークマシンの出力を減らす）
- 冷えたＣＯ２ボンベは、良好な効果を生み出します。

メンテナンス

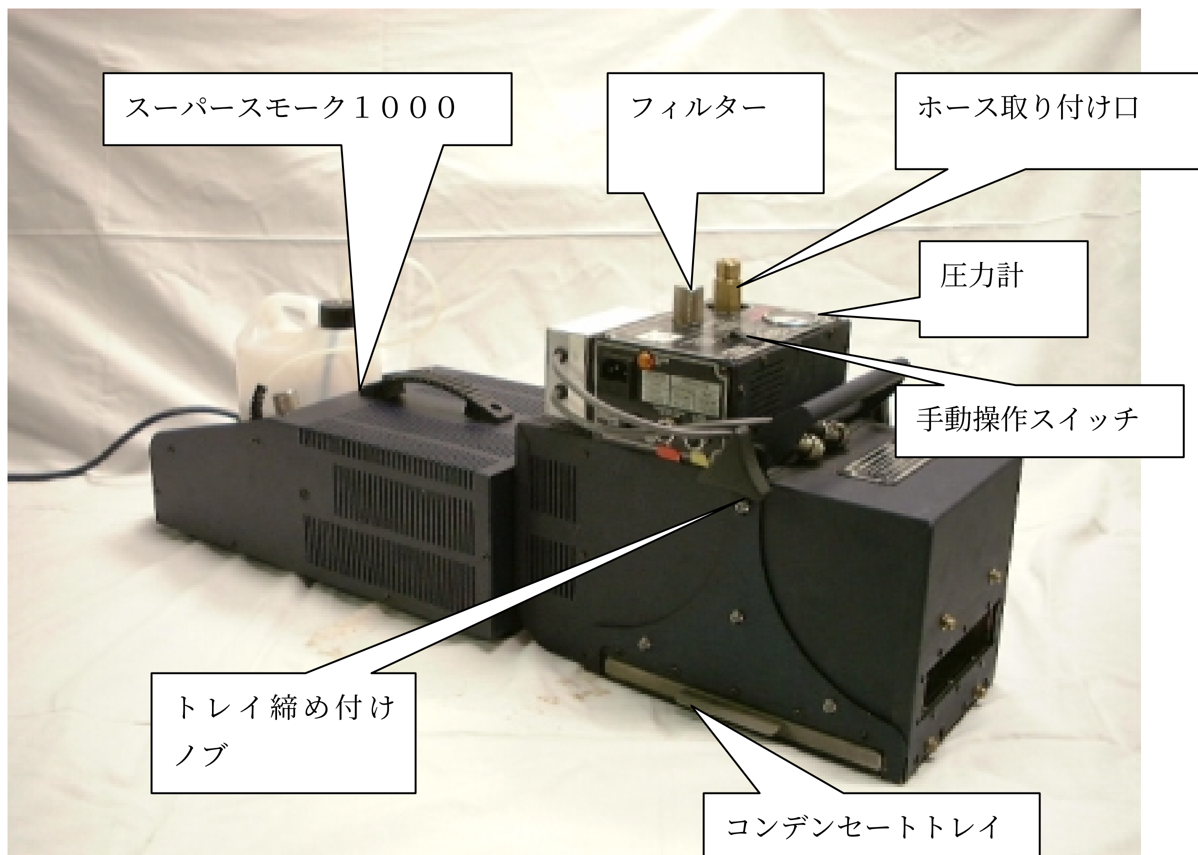
メンテナンスは、適当な資格のある人が行ってください。シーラスの圧力システムは５０気圧下で動いており、間違ったことをすれば非常に危険です。エフェクトカンパニー社の部品以外を代替に使用しないでください。

健康と安全

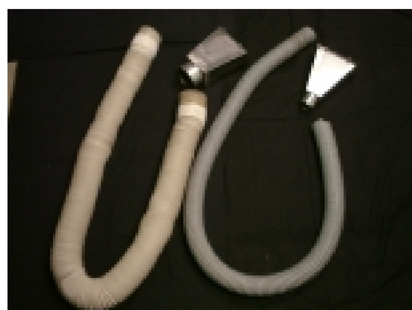
シーラスのユーザーは、ＣＯ２ガスの安全な使用法と条件、高圧ガスボンベの取り扱いについて熟知する必要があります。

故障かなと思ったら

問題	対処
・「ＭＡＩＮ‘Ｓ ON」ランプが点かない 点滅する	電源、外のヒューズをチェックする。リード線をチェックする。プリント基板のヒューズをチェックする。
・［ＣＯ２ＰＲＥＳＳＵＲＥ］ＬＥＤが点かないマシンが動かない	１．ＣＯ２ボンベの圧力低下、あるいは、ボンベのバルブが閉まっている。 ２．ボンベが冷えすぎて圧力が低下している。
・コントローラーが使用可能にならない ・ＬＥＤが点灯しない	１．コントローラのプラグ、ケーブルが壊れていないかチェックする。 ２．スーパースモークのボトルカットアウトが作動していないか（ボトルが空になっていないか)、確認する。
・他の電気的故障	１．シーラスのソケットにＤＩＮプラグが正常に接続されているか確認する。 ２．プリント基板部の故障の可能性あり
・ロースモークは出るが出たとたん舞い上がってしまう	ボンベ中の液体が空になって、気体が流れている。ボンベを新しいものに交換する。
・過度の液溜りがコンデンセートトレイにできる	間違った液を使用している。スモークマシンが確実に発煙しているか確認する。
・シーラスのケースの外側に霜がつく	１．低温状態で動いている（スモークボリュームを上げる） ２．スモーク液が尽きている ３．スモークマシンが壊れている。たとえボリュームが最大になっていても、押さえられた出力で動いている。
・下側からもれてくる	コンデンセートトレイが、ガスケットシールに対し密着していない。よく締め付け、プラスチックノブをしっかり締める。トレイが変形していないか状態を見る。
・霜付、Ｃｏ２漏れがフィルターキャップの周りに起きる	１．クローム製のノブがしっかり締めてあるかみる。 ２．新しいOリングに交換する。
・スモークマシンは動いている、がシーラスの効果が出ていない。他の表示は全て正常である。	１．フィルターのつまりを確認する。 ２．内部で詰っている可能性あり（電磁弁等）
・漏れ／霜付がボンベのバルブ付近でおきる	１．ホースのナットが締まっているか確認する。 ２．ホースのパッキンを確認／交換する。


スーパースモーク１０００
フィルター
ホース取り付け口
圧力計
手動操作スイッチ
トレイ締め付け
ノブ
コンデンセートトレイ


圧力表示ＬＥＤ



ダクティングアダプタ